

歴民館だより

企画展・ミニ企画展にご来館いただきありがとうございました！

本年、令和7(2025)年は、昭和20(1945)年から戦後80年という節目の年です。出水歴史民俗資料館と高尾野郷土館・古城画伯コレクション館では、戦争をテーマにした展示を行いました。

企画展

「戦後80年～兵隊さんが遺したもの～」

●開催期間：令和7年7月1日(火)～同9月7日(日)

●開催場所：出水歴史民俗資料館



国旗に書かれた
上陸記念の寄書き

馬具一式
※収納入れ(箱)付き



【展示資料：軍隊手帳・戦陣訓・軍服・軍靴・水筒・軍用毛布・軍用トランク・馬具・ゴーグル・婦人会旗など】

「戦争」を経験していない世代が圧倒的に多い現代、80年という節目を迎え、私達が生活している身近な場所で実際に起こっていた「戦争」を感じていただく機会になればと思い、出水から出征した方の持ち物を展示しました。出水には、ご家族が大切に保管してきた数多くの資料が残されています。期間中、戦時中の実体験や祖父母・親などから伝え聞いた事を話してくださる方や、初めて戦争資料の実物を目にした感想を話す児童など様々でした。中央図書館の戦争に関する書籍や、総務省からダウンロードできる子ども向け「まんが子ども太平洋戦争物語」など自由に閲覧できるスペースも設けました。企画展を機に、あらためて「戦争」について考えるひと夏となったようです。

ミニ企画展

「戦後80年・戦争とくらし展」

●開催期間：令和7年8月1日(金)～同8月31日(日)

●開催場所：高尾野郷土館・古城画伯コレクション館



戦時中の教科書



夏休み歴史クイズとコラボ

【展示資料：軍服・学校日誌・教科書・手紙・千人針など】

戦後80年。地域に残されたものを通して、平和について考えていただく機会として、郷土館の展示資料の中から戦争に関わりがあるもの(戦時中に使われた道具や手紙など)をピックアップし、戦争や当時のくらし、高尾野地域で起こった空襲の体験者の記録などを、イラストやパネルを用いて紹介しました。児童向けに自由研究に活用できる展示の解説書の配布も好評となりました。また、地元新聞でミニ企画展の記事が掲載されたことにより、県内外の様々な年代の方々にご来館いただきました。心より感謝申し上げます。

出水歴史民俗資料館

出水市本町3番14号
中央図書館2階
☎ 0996-63-0256(直通)

高尾野郷土館 古城画伯コレクション館

出水市高尾野町大久保
158番地5
☎ 0996-82-1467(直通)

野田史料館

出水市野田町上名6094番地1
野田図書館内
☎ 0996-84-3100(図書館)

✿ 出水歴史民俗資料館 開館40周年記念 ✿

出水市立中央図書館合同企画

「真夏の夜のナゾトキクエスト」



- 開催日時：令和7年7月19日(土)午後7時～8時
- 開催場所：中央図書館・出水歴史民俗資料館
- 参加人数：17人（子ども9人、大人8人）

“夜のおはなし会”と“ナイトミュージアム”がコラボした初の試みとなりました。図書館内では、読みきかせ・アニメーションや本を使ったナゾ解き、歴史館では展示にまつわるナゾ解きに挑戦しました。すべての問題をクリアすると、手作りメダルや記念品が配られ、撮影スポットで記念写真を撮りました。楽しい夏休みの思い出になったようです。



✿ 夏休み子ども講座 体験活動 ✿

「オリジナルたのかんさあをつくろう！」

- 開催日時：令和7年8月3日(日)午後1時30分～
- 開催場所：中央図書館 研修室
- 参加人数：20人（子ども11人、大人9人）

南九州の田んぼの近くで見かける“たのかんさあ”は田を守り稲作の豊穰をもたらす神をあらわした石像です。歴史や地域によって異なる特徴を学んだ後に各自制作しました。実りの秋を祈りながら十人十色の“たのかんさあ”が完成！それぞれの個性が光っています。この講座をきっかけに“田の神様”が夏休みの自由研究の題材となった児童もいたようです。



稲・おにぎり・お供えもの・鎌・めしげ・太陽まで！
気持ちのこもった田の神さまの完成です！



✿ 古文書解読入門講座 ✿

令和7年6月7日から毎週土曜日(全5回)、中央図書館研修室にて古文書解読入門講座が行われました。講師は出水史談会の脇岡隆夫氏、参加者は35名(5回総計)となりました。漢文や看板など、文字に慣れることから始まり、出水の『軍役高帳75番』『嘉永三年庚戌正月元旦日帳長治(竹添弥八兵衛)』をテキストとして、解読に臨みました。講師より新たに解読された郷土の襖張りの文書についての進捗解説もあり、充実した講座となりました。



✿ 夏休み歴史クイズ ✿

- 期間：令和7年8月1日(金)～同8月31日(日)
- 参加総数：127人（出水歴史民俗資料館：76人、高尾野郷土館：27人、野田史料館：24人）

展示に関するクイズを、今年も3館(出水・高尾野・野田)で開催しました。昨年よりも多くの児童が参加して下さいました。わからない問題は親子や友達同士で相談しながら、時にはスタッフからのヒントで全問正解までたどり着きました。プレゼントのシャボン玉も大人気だったようです。子ども達にとって夏の思い出の一つとなっているようです。



シャボン玉

✿ 出前講座 ✿ 講師：出水史談会 脇岡隆夫氏

- 令和7年9月24日(水) 東出水小学校 音楽室
- 東出水小学校4年生 48人(教員保護者など含む)
- 講話「山田昌巖は、どんな人？」



☆中央図書館とのコラボ企画☆

「タイムスリップ読みきかせ」

- 開催日：令和7年11月1日(土)午後1時～
 - 開催場所：中央図書館・出水歴史民俗資料館
 - 参加人数：11人（子ども7人、大人4人）
- 図書館で昔ばなしの紙芝居や絵本の読み聞かせ、ミニクイズをした後、2階の歴民館へ移動し、昔ばなしに登場した道具の使い方など紹介しました。
- 絵本『きんたろう』 ●パネルシアター『かさじぞう』
 - 紹介した道具…「囲炉裏」「かさ」「わらじ」「盃」「刀」ほか



☆ご見学ありがとうございました☆

※「高尾野郷土館・古城画伯コレクション館」を紙面の都合上、高尾野館と表記しています

- 令和7年6月4日(水) 野田史料館
野田小学校2年生 35人（引率含）
- 令和7年6月10日(火) 野田史料館
学校職員 40人
- 令和7年7月28日(月) 出水歴史民俗資料館
高尾野小学校教諭 3人
- 令和7年8月5日(火) 3館(出水・高尾野・野田)
フレッシュ研修 28人（引率含）
- 令和7年10月24日(金) 高尾野館
校長会 16人（自由見学）
- 令和7年10月31日(金) 出水歴史民俗資料館
西出水小学校2年生 122人（引率含）
- 令和7年11月20日(木) 出水歴史民俗資料館
東出水小学校3年生 42人（引率含）



☆当館所蔵刀剣錆止め処置☆

令和7年10月23日(木)

脇岡隆夫氏(出水史談会)にご指導賜りました。

・展示中の刀剣8本、長刀1本、他17本
錆止め処理は、打粉・刀油等を使用して行います。



うちこ
打粉…丸く絞られた布の中に
砥の粉(砥石の粉)が入っています。
刀身の古い油を取るために必要な道具です。打粉をポンポンと刀身に当てた後、拭い紙などでふき取り、仕上げに新しい油を塗ると、錆から刀を守るためのお手入れが完成します。



☆くん蒸防虫処理完了☆

令和7年10月20日～21日、出水歴史民俗資料館では文化財を蝕む害虫の駆除対策として、くん蒸処理が行われました。出水市の文化財を守るため、休館へのご理解・ご協力ありがとうございました。

☆歴史講座☆ ご参加ありがとうございました

令和7年度の歴史講座が開催されました。

- 日時：令和7年10月18日(土)午後2時～3時半
- 講座名：「出水歴史民俗資料館開館40周年
出水歴史研究のあゆみ」

- 場所：出水市立中央図書館 研修室
- 講師：脇岡隆夫氏(出水史談会) ●参加者：20人

【内容】どのような歴史資料を用いて、出水の歴史が調査・研究されてきたのか、古代から現代まで解説。歴代の研究者が刊行した書籍や歴民館の取り組みについても紹介されました。今後の課題として、出水歴史研究の継続を挙げられ、多くの方に地域に残る歴史資料へ目を向けてほしいと述べられました。ご講演いただき、心より感謝申し上げます。



解説する脇岡氏

✿おさんぽビンゴ・歴民館シールラリー✿



ビンゴ用紙2種類(出水麓・出水史跡)、シールラリー台紙とシールは3館各館にあります。達成者にはオリジナルグッズをプレゼント♪お散歩にいかがですか😊

📢体験活動📢 遊びに来ませんか？

「みんなであそぼう！お正月遊び」

●日 時：令和8年1月10日(土)午後1時～2時

●場 所：出水歴史民俗資料館 民具室

●事前申し込みは必要ありません

●参加料 無料

お正月ならではの遊び“かるた”や“福笑い”“コマまわし”など、子どもから大人まで一緒に、楽しく遊んで
 幸先の良い新年のスタートをきりましょう♪



✿資料紹介✿

きよたけあたごじんじゃじぞうぼさつぞう

【清田家愛宕神社地蔵菩薩像】

野田郷土清田家に引き継がれてきた地蔵菩薩像(木造・台座は独立)。清田家が代々守り伝えてきた愛宕神社にてお祀りされてきました。彫りの特徴などから室町時代後期から江戸時代初め頃に彫像されたと考えられています。清田家の由緒書には山内寺との関わりや、明治の廃仏毀釈との関連など記載されていますが、詳細は不明です。

※現在、野田史料館で展示公開中です。



当初は、彩色がつけられていたようですが、現在は剝落しています。

どうまゐいせき

【堂前遺跡発掘時に撮影した写真】

今回ご紹介する写真は「堂前古墳」発掘当時の様子です。鹿児島県考古学会の会員である有元彰順様から、ご自身が居合わせた発掘現場で撮影した写真を提供していただきました。

昭和47年頃、県文化財専門委員河口貞徳氏と出水高校教諭池水寛治氏ご指導の元、出水高校考古学部が堂前遺跡の発掘調査を行った時の写真です。

〈堂前遺跡〉埋葬遺構は26基、そのうち17基は覆石墓、2基は葺石土壙墓、残り7基は地下式板石積石墓です。遺物は鉄剣、鉄鏃、土器(弥生時代中期～週末期)、石斧、勾玉、ガラス製小玉など確認されました。堂前遺跡から発掘された石室は、現在、高尾野郷土館・古城画伯コレクション館に展示されています。

発掘現場写真



高尾野郷土館 展示



最新情報はこちらでチェック！



3館(出水・高尾野・野田)の行事案内や資料紹介、季節に合わせたオススメ、また様々な動画やオンライン視聴ができる展覧会など随時更新しています。右のQRコードからぜひ読み込んでご覧下さい♪

